

令和3年度「特別自治市」に関するアンケート 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q4「あなたは、「特別自治市」を知っていますか。」の質問において、「ア 制度の概要まで知っている」と回答された方は、12.4%（203人）に留まりました。特別自治市の認知度及び理解度がまだまだ低いことが分かり、特別自治市の制度や実現に向けた本市の取組を市民の皆様にお伝えするための広報の重要性がわかりました。これを踏まえ、Q6「特別自治市」を市民の方々に知っていただくために、どのような取組が必要だと思いますか。」に対する回答を分析し、特別自治市に関する本市の取組をより多くの市民の皆様が関心を持ち、ご理解していただける方法を検討していきます。

2 アンケートを実施した感想

この度のアンケートでは、各設問の自由記載やQ14の「特別自治市」に対するイメージや「特別自治市」の実現に向けた取組の推進」についての自由意見において、「特別自治市」のネーミングに対するご意見など普段聞けないようなご意見を含め、非常に多くのご意見をいただきました。いただいた貴重なご意見も踏まえ、幅広い視点を持って今後の取組を推進していきます。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、「特別自治市」に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。

横浜市では、市民の皆様がより暮らしやすい横浜を目指し、現在の政令指定都市に代わる新たな大都市制度である「特別自治市」の実現に向けた取組を推進しています。市民の皆様にご理解いただけるよう、今後も様々な方法で「特別自治市」に関する情報を発信していきます。

9月から政策局大都市制度推進本部室のツイッターアカウントを開設しています。横浜市の大都市制度や地方分権、広域行政に関する取組に関する情報を発信していきますので、ぜひフォローをお願いします。

■横浜市政策局大都市制度推進本部室ツイッターアカウント
https://twitter.com/ykhm_daitoshi

担当：政策局制度企画課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。